

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公表番号】特表2009-521532(P2009-521532A)

【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2008-548581(P2008-548581)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/70
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	47/36
A 6 1 K	47/42
A 6 1 K	47/12
A 6 1 K	47/18

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月14日(2009.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 水と結合した際に、中性でないpHを持つ、少なくとも1種の成分；および

(b) 水との組合せで、該中性でない成分と結合した際に、シネレシスを減じ、もしくは阻害するように選択された、pH調節ポリマー系、

を含むことを特徴とする、組成物。

【請求項2】

前記少なくとも1種の中性でない成分が、酸性物質であり、また前記ポリマー系が、中性または酸性ポリマーを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記少なくとも1種の中性でない成分が、酸性物質であり、また前記ポリマー系が、中性ポリマー、塩基性ポリマーおよび弱塩基性物質を含む、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

前記少なくとも1種の中性でない成分が、塩基性成分であり、また前記ポリマー系が、中性ポリマー、塩基性ポリマーおよび弱酸を含む、請求項1記載の組成物。

【請求項5】

前記少なくとも1種の中性でない成分が、塩基性成分であり、また前記ポリマー系が、少なくとも1種の塩基性ポリマーを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項6】

前記ポリマー系が、ヒドロキシメチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース、ヒド

ロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、ポリエチレンオキシド、アラビアガム、ザンタンガム、グアーガム、ローカストビーンガム、ポリデキストロース、デキストリン、デキストラン、フルラン、タマリン、デンプン、およびこれらの組み合わせからなる群から選択される、中性ポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 7】

前記ポリマー系が、ポリエチレンオキシド、セルロース系ポリマーおよびこれらの組み合わせからなる群から選択される、中性ポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 8】

前記中性ポリマーが、ポリエチレンオキシドまたはヒドロキシプロピルメチルセルロースと、ポリエチレンオキシドとの組合せである、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】

前記ポリマー系が、ポリ(グリコール酸)(PGA)、ポリ(乳酸)(PLA)、ポリ無水物、硫酸化カラギーナン、ファーセレラン、ザンタンおよびこれらの組み合わせからなる群から選択される、酸性ポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

前記ポリマー系が、ポリアミノ酸、ポリアミノカーボネート、ポリカーボネート、ポリアミド、カルボキシメチルセルロース、アルギネート、カラギーナン、ペクチンおよびこれらの組み合わせからなる群から選択される、塩基性ポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】

前記ポリマー系が、アルギネートポリマーを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 12】

前記ポリマー系が、バッファー系を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 13】

前記酸性ポリマーが、ポリ(グリコール酸)(PGA)、ポリ(乳酸)(PLA)、ポリ無水物およびこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 14】

該組成物が、フィルム形状にある、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 15】

該フィルムが、活性物質を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 16】

該活性物質が、前記中性でない成分である、請求項 1 5 記載の組成物。

【請求項 17】

該活性物質が、該中性でない成分とは異なる成分である、請求項 1 5 記載の組成物。

【請求項 18】

前記塩基性ポリマーが、ポリアミノ酸、ポリアミノカーボネート、ポリカーボネート、ポリアミド、カルボキシメチルセルロース、アルギネート、カラギーナン、ペクチン、トラガカンス、カラヤおよびこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 5 記載の組成物。

【請求項 19】

(a) 以下の成分を含むフィルム組成物：

(i) 水と結合した際に、中性でないpHを持つ、少なくとも1種の成分；および

(ii) 水との組合せで、前記中性でない成分と結合した際に、シネレシスを減じ、もしくは阻害するように選択された、pH調節ポリマー系；および

(b) 放出支持体、

を含むことを特徴とする、デバイス。

【請求項 20】

該フィルム組成物が、活性物質を含む、請求項1\_9記載のデバイス。

【請求項21】

該活性物質が、中性でない成分である、請求項2\_0記載のデバイス。

【請求項22】

前記放出支持体が、タンポンまたは包帯である、請求項1\_9記載のデバイス。

【請求項23】

- (a) 水と結合した際に、中性でないpHを持つ成分を調製する工程；
- (b) 水性溶媒との組合せで、前記中性でない成分と結合した際に、シネレシスを減じもしくは阻害するように選択された、pH調節ポリマー系を調製する工程；
- (c) 前記中性でない成分および前記ポリマー系を、水性溶媒と共に併合して、フィルム形成組成物を製造する工程；および
- (d) 前記フィルム-形成組成物を、フィルムに成型する工程、  
を含むことを特徴とする、フィルムの製造方法。

【請求項24】

該中性でない成分が、活性物質である、請求項2\_3記載の方法。

【請求項25】

更に、該成型工程に先立ち、該フィルム成分と活性物質とを結合する工程をも含む、請求項2\_3記載の方法。

【請求項26】

活性物質を適用する装置であって、

- (a) 第一のフィルム形状にある水溶性組成物であって、(i) 水と結合した際に、中性でないpHを持つ、少なくとも1種の成分；および(ii) 水性媒体との組合せで、前記中性でない成分と結合した際に、シネレシスを減じもしくは阻害するように選択された、pH調節ポリマー系を含む組成物；および
- (b) 前記水溶性の第一のフィルムを溶解するための水性媒体であって、前記第一のフィルムと直接接触して、活性物質の存在下で、前記中性でない成分を、前記第一フィルムから溶出または分散させて、前記活性物質を必要とする表面領域に、前記活性物質を放出し得るようにするための水性媒体、  
を含むことを特徴とする、前記装置。

【請求項27】

更に、前記活性物質を必要とする前記表面領域に、該活性物質を適用するためのアプリケータをも含む、請求項2\_6記載の装置。

【請求項28】

前記溶媒が、容器内にある、請求項2\_6記載の装置。

【請求項29】

前記少なくとも一つの中性でない成分が、酸性物質であり、かつ前記ポリマー系が、中性ポリマー、酸性ポリマー、または中性ポリマー、塩基性ポリマー及び弱塩基の組合せを含む、請求項2\_6記載の装置。

【請求項30】

前記少なくとも一つの中性でない成分が塩基性物質であり、かつ前記ポリマー系が、塩基性ポリマーまたは中性ポリマー、塩基性ポリマー及び弱酸の組合せを含む、請求項2\_6記載の装置。